

大学卒業程度試験 専門試験（農学（一般）B（職務経験者））例題

【作物】

- （１）農業・農村の抱える課題を踏まえた上で、スマート農業の普及拡大が必要とされる理由を２つ述べよ。
- （２）稲作または大豆栽培で実用化されているスマート農業について、事例を取り上げながら期待される導入効果や普及・定着するための課題を述べよ。

【園芸】

本県では、複合型生産構造への転換に向けた園芸産地の育成に取り組んでおり、水田転換畑における園芸作物の栽培が拡大している。

そうした中であって、連作障害や排水不良によって、生育が抑制される事例が散見されている。

- （１）連作障害について、その原因と対策を述べよ。
- （２）排水改善の効果と、園芸作物の栽培におけるほ場内の排水対策について述べよ。

【担い手・経営】

- （１）農業分野で設立の多い「農事組合法人」の特徴を述べよ。
- （２）本県では、集落単位での法人の設立や一戸一法人の設立など、農業経営の法人化が進んでいるものの、将来にわたって地域農業の担い手として活躍するため、経営の継続性が課題となっている。農業法人が持続的に発展していくために必要な取組について述べよ。

【起業・流通】

- （１）農業分野におけるマーケットインとプロダクトアウトの違いについて述べよ。
- （２）付加価値向上のために、農業者自らが農業生産だけでなく、加工・販売まで行う６次産業化や、農業者が加工業者及び流通業者と連携する農商工連携が行われている。農業者が付加価値向上に取り組む際の留意点について述べよ。